

## 世界遺産委員会決議に係る今後の対応について

### 1 第36回世界遺産委員会決議（2012年6月：決議36COM 7B.12）（別紙1-1、1-2）

#### 2 これまでの対応について

##### （1）遡上等モニタリング調査について（別紙2）

昨年度第2回目の会議において、これまでのモニタリング調査計画を一部変更し、今年度から調査を実施している。

##### （2）ルシャ川の取扱いについて（別紙3）

昨年度第1回目の会議において、①ルシャ川の取扱いについては、地元の現場（漁業者）の意見を訊くことが重要、②時間をかけながら、地元等との話し合いを深めながら、将来のルシャ川のあり方について検討していくことが肝要、とされた。

これらを受けて、これまで地元漁業者等との意見交換の場を数回行ったところである。

#### 3 今後の対応について

ルシャ川については、関係者間での議論を踏まえ、適切な手法を検討し対応していく。また、河川工作物の改良によるサケ科魚類の移動と産卵の状況やモニタリング調査等について、これまでの対応と今後の取り組みに関する対応状況など、ルシャ川の取扱いを含めた報告を検討していく。

なお、提出期限が2015年2月1日までとされていることから、早期に関係者間での議論を踏まえ、関係機関との調整など適切な対応を行うこととする。

決議 36 COM 7B.12 (仮訳)

世界遺産委員会は、

1. 作業文書 WHC-12/36.COM/7B を検討(examine)し、
2. 第 32 回委員会 (2008 年ケベック) で採択された決議 32COM7B.16 を想起(recall)し、
3. 当該国が行った努力及び進行中の資産の保全に関する問題への対策の情報を認め (acknowledge)、当該国にその努力を継続するよう強く勧め(urge)、
4. 当該国にトドの年間捕獲割り当て数及び捕獲数の情報のアップデート及び資産内の個体数の動向を報告するよう要請(request)し、
5. 当該国に、サケ科魚類の移動と産卵の状況のモニタリングを継続するとともに、サケ科魚類の移動と産卵を確保するために、ルシャ川において、必要に応じて、他の適切な手段を含む河川工作物のさらなる改良を行うことを検討するよう、さらに要請(request)し、
6. 当該国に、資産内のサケ科魚類の移動と産卵の改善及び漁業者とトドの摩擦対応における進捗状況を含めた資産の保全状況報告を、2015 年の第 39 回世界遺産委員会で検討するために、世界遺産センターに 2015 年 2 月 1 日まで提出するよう、さらに要請(request)する。

第 36 回世界遺産委員会 知床に関する決議文 (原文)

**Decision: 36 COM 7B.12**

The World Heritage Committee,

1. Having examined Document WHC-12/36.COM/7B,
2. Recalling Decision **32 COM 7B.16**, adopted at its 32nd session (Quebec City, 2008),
3. Acknowledges the efforts made by the State Party and information on the on-going actions to address conservation issues at the property and urges the State Party to continue these efforts;
4. Requests the State Party to update statistics on annual Steller Sea Lion quotas and numbers caught and to report on population trends within the property;
5. Also requests the State Party to continue monitoring the status of salmonid migration and spawning, and consider further river construction modifications including other appropriate measures, as needed, on the Rurua River in order to ensure natural salmonid migration and spawning;
6. Further requests the State Party to submit to the World Heritage Center by **1 February 2015**, a report on the state of conservation of the property, including on progress achieved in improving natural salmonid migration and spawning within the property and in addressing the conflict between fishers and Steller Sea Lion, for examination by the World Heritage Committee at its 39th session in 2015.

モニタリング調査計画について

(改良効果等を把握するための遡上等モニタリングと長期モニタリングを併せて表示)

河川名	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H29 2017	H31 2019	H32 2020
イワウベツ川													
赤イ川	▲	←	★	▲	▲	→	→	→	◎			◎	◎
ピリカベツ川		▲▲	←	→	→	→	→	◎	◎			◎	◎
ルシャ川	●●	←	→	→			☆	☆	◎	☆	☆	☆	◎
サシルイ川		●●	←	→	→			◎	◎			◎	◎
チエンベツ川			●	●	→	→	→	◎	◎			◎	◎
羅臼川				●	→	→	→	→	→	→		◎	◎
テッパンベツ川							☆	☆		☆	☆	☆	
ルサ川							☆	☆		☆	☆	☆	

- ▲ : 改良工事 (北海道森林管理局)      ★ : 改良工事 (斜里町)
- : 改良工事 (北海道 )                      ⇔ : 改良効果モニタリング期間 (当初)
- ◎ : 改良効果モニタリング (追加)
- ☆ : 長期モニタリング (遡上等)

注 1) ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川の H 2 4 は試行的  
 注 2) 改良河川では、H 2 5、H 2 6 と 2 年連続  
 注 3) 改良河川では、H 3 1 (豊漁年)、H 3 2 (不漁年) と 2 年連続

## ルシャ川の今後のあり方についての意見交換会

## 開催概要

開催日時 平成 25 年 10 月 29 日 (火) 13 時 30 分～15 時 00 分

開催場所 北海道森林管理局知床森林生態系保全センター (斜里町ウトロ)

開催目的 第 36 回世界遺産委員会における決議事項の対応を進めるに当たり、ルシャ川の今後のあり方についての議論を深めるため、地元漁業者、河川工作物アドバイザー会議委員、行政による意見交換を行った

## 出席者

漁業関係者	斜里第一漁業協同組合 大川原専務理事、成田指導係長 ウトロ漁業協同組合 野田専務理事、野澤参事 知床丸共同漁業部 代表取締役 大瀬初三郎氏、野上英人氏 一般社団法人北見管内さけ・ます増殖事業協会 増川常務理事
河川工作物アドバイザー会議	中村座長、帰山委員、小宮山委員
関係行政機関	林野庁北海道森林管理局 北海道生物多様性保全課、治山課、オホーツク総合振興局林務課

## 開催概要

## ◇ルシャ川に関する状況説明

ルシャ川に関する経緯や改良状況などについて北海道から説明

## ◇意見交換【主な意見】

## ○ダム整備の経緯について

## 〈漁業関係者〉

- ・台風により、流木が発生し定置網に被害を与えたことから道に治山事業を要請した

## ○流木について

## 〈漁業関係者〉

- ・流木の処理を行うなど、漁業に対する被害がないような対策も必要

## 〈河川 AP 委員〉

- ・仮にダムを撤去して、流路 (滞筋) が振れだし、側方浸食が進んだ場合、現在扇状地面に生育している河畔林が流出し、海に流れ出る可能性はある
- ・流木はルシャ地区だけでなく他の地区にも漂流することはあり得る
- ・流木や土砂が出ることを受け入れられるのであれば、撤去に向けての話が進むこともできる

## ○道路について

## 〈漁業関係者〉

- ・道路の公共性は低いのもかもしれないが、現実には使用しているので残してほしい

## 〈河川 AP 委員〉

- ・ダム撤去となると河口にある林道の維持ができなくなる可能性がある
- ・橋を守るということであれば、河道を横に振らせず今の様な形にするしかない
- ・自然産卵の場所を作り出すため、滞筋を振ると道路が問題となる

## ○ダム改良について

### 〈漁業関係者〉

- ・ダムを撤去した場合でも豪雨などによる被害がないよう考えて頂きたい
- ・第1ダムは改良すれば、さらに魚が遡りやすくなる
- ・ダム撤去によりすべてが回復するものでもないが、世界的に見れば非常によい
- ・一度に撤去してメリット、デメリットがどうかではなく、段階的にできないか
- ・第一に漁業再生産に必要な資源の確保、それから環境というものも考えていかなければならない

### 〈河川 AP 委員〉

- ・ルシャ地区は核心地域であり、自然遺産としての価値を生かす場所として管理が必要
- ・伏流浸透水がある産卵場所にダムがあることが問題
- ・サケの自然再生産という視点から見ると、ダムが産卵場所をせばめているのでサケにとって厳しい
- ・現実的には道路と橋の問題があり、今すぐに撤去が必要と思わないが、将来的には撤去すべきでは
- ・ダム設置区間を産卵場所として生かせるような改良の方法があるのか考えていく価値はある
- ・ダムの改良、例えば伏流浸透水が流れる様な構造に変更し、結果を見るのも一つの方向性
- ・現在のダム設置区間を産卵場所とするためにどのような構造にするかは議論が必要。そのハードルを越えることができれば、自然サケの産卵場所として漁業者にとっても IUCN にとっても納得のいく出口になるのではないか
- ・今までは遡上について検討していたが、産卵場所の確保も含めた工法の検討が必要

### 〈関係行政機関〉

- ・ふ化場は撤去されたが、現在においても漁場・漁業が保全対象である
- ・遡上ばかりでなく産卵場所を確保していける様、さらに検討を進める

## ○MSC 認証について

### 〈漁業関係者〉

- ・これからも漁業が生き残るためには、野生サケのことも重要
- ・MSC 認証は漁業にプラスアルファとなる、そういった点でルシャ川は重要

### 〈河川 AP 委員〉

- ・野生サケの再生産が可能となれば、MSC 認証や漁業にもプラスになるのではないか
- ・MSC 認証という視点から見ると、ルシャ川はシンボリックな川

## ○漁場に維持について

### 〈漁業関係者〉

- ・漁業者も助けながら知床遺産を守ることが大事
- ・漁業の継続に影響を及ぼさないことが重要

### 〈河川 AP 委員〉

- ・遺産地域においては漁業との共存は必要、漁業を維持しながら遺産の管理を目指す
- ・気候変動による今後の展開を考えると、野生魚をどう守っていくのかが重要

第36回世界遺産委員会決議に向けた対応スケジュールについて（イメージ）  
 - 河川工作物A P会議 2014年度 -

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	備考
河川工作物A P	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討会開催</li> <li>・報告素案の提示</li> <li>・ルシャ川の対応方針の説明、確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回会議</li> <li>・ルシャ川の検討報告</li> <li>・報告案の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告案の意見聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回会議</li> <li>・報告案の報告</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事務局】</li> <li>・報告素案の作成</li> <li>・ルシャ川の対応方針の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事務局】</li> <li>・報告案の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事務局】</li> <li>・報告案の調整</li> </ul>		
科学委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回会議</li> <li>・対応方向の報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回会議</li> <li>・対応の報告</li> </ul>	平成25年度第2回 科学委員会 (H26. 2. 27予定) ・経過報告 ・今後の対応
関係機関等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回地域連絡会議</li> <li>・対応方向の報告</li> <li>○地元対応</li> <li>・ルシャ川の対応方向等の説明</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回地域連絡会議</li> <li>・対応の報告</li> </ul>	平成25年度第2回 地域連絡会議 (H26. 3予定) ・今後の対応報告
本省		<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告案の打合せ、調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告案の協議、決定</li> </ul>	世界遺産センター提出 (2015年2月1日まで)	